

加古川市志方西地区の貴重な農業用ため池である「原大池」  
で五穀豊穡と水利の安寧をお祈りする行事“樋<sup>ひぬ</sup>抜<sup>ぎ</sup>きの儀”

# 樋 抜 き の 儀



五穀豊穡と水利の安寧のお祈り、  
拝礼と振る舞いが終わった後、  
原大池の「樋抜き」が行われます。

円筒分土工を經由した水が轟音  
と共に水路へ、そして農地へと  
美しく流れだします。

と き:令和4年5月30日(月)

集合9時30分 開始 10時～

ところ:原大池(加古川市志方町原)

加古川市志方町にある原大池は、江戸時代に魚橋  
(高砂市米田町)の豪商・神吉久太夫により築造されたと  
伝えられ、町内最大のため池(面積9ha)です。

このため池は、5ヶ村(横大路、原、成井、永室、西  
牧)が共同で管理されています。

